

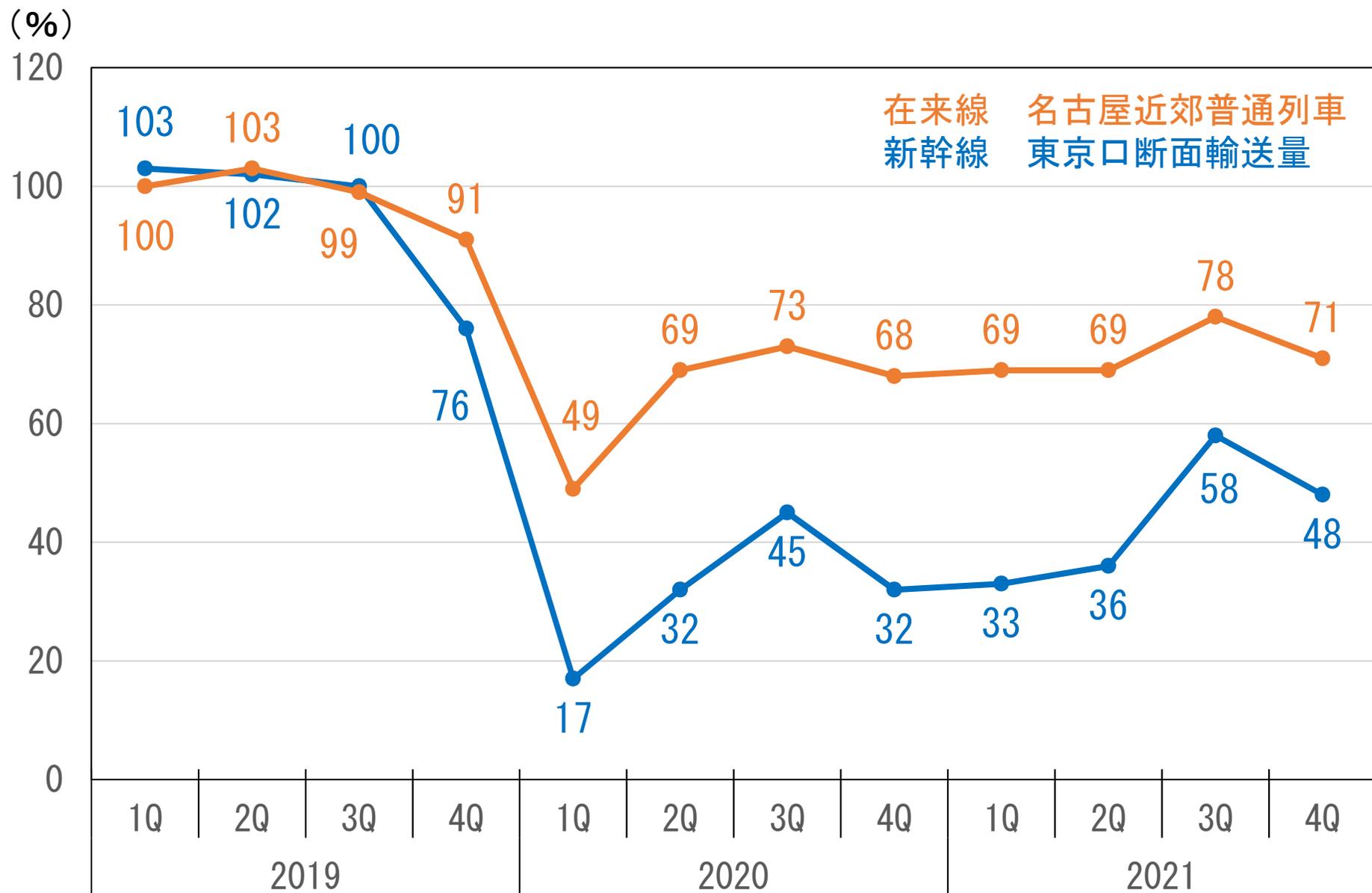
交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会
鉄道運賃・料金制度のあり方に関する小委員会
ご説明資料

2022年3月1日
東海旅客鉄道株式会社

現行の運賃・料金制度に関する課題・要望

- 足もとでは新型コロナウイルス感染症拡大やデジタル技術の急激な普及により、**ご利用動向が大きく変化**している。
- 特に新幹線については、従来から航空との競争環境に置かれていたことに加え、こうした変化によりウェブの存在感が増して、**より厳しい競争環境**になっており、運賃・料金についても、より柔軟な仕組みが必要な状況になってきていると思われる。
- また、コロナ禍前からバリアフリー化の推進やセキュリティ強化等、期待されるサービス水準が高まってきているほか、激甚化する自然災害への対応、地球環境保全への更なる貢献の必要性、資材価格の上昇懸念等、**新たなコストアップ要素**も増えてきている。
- こうした状況変化を踏まえ、現行の制度を前提にするとしても**経営環境の変化に機動的に対応**できるように、運賃・料金改定時の**審査手続等を簡便・迅速にする等の方策**は、検討していただきたい。
- 仮に、現行制度を見直す場合であっても、会社ごとに事業構造や経営環境が異なるため、**各社に対して当該制度を一律に適用することがないようにしていただきたい**。あわせて、手続きは煩雑なものとならないようにしていただきたい。

ご利用状況の推移（2018年度比）

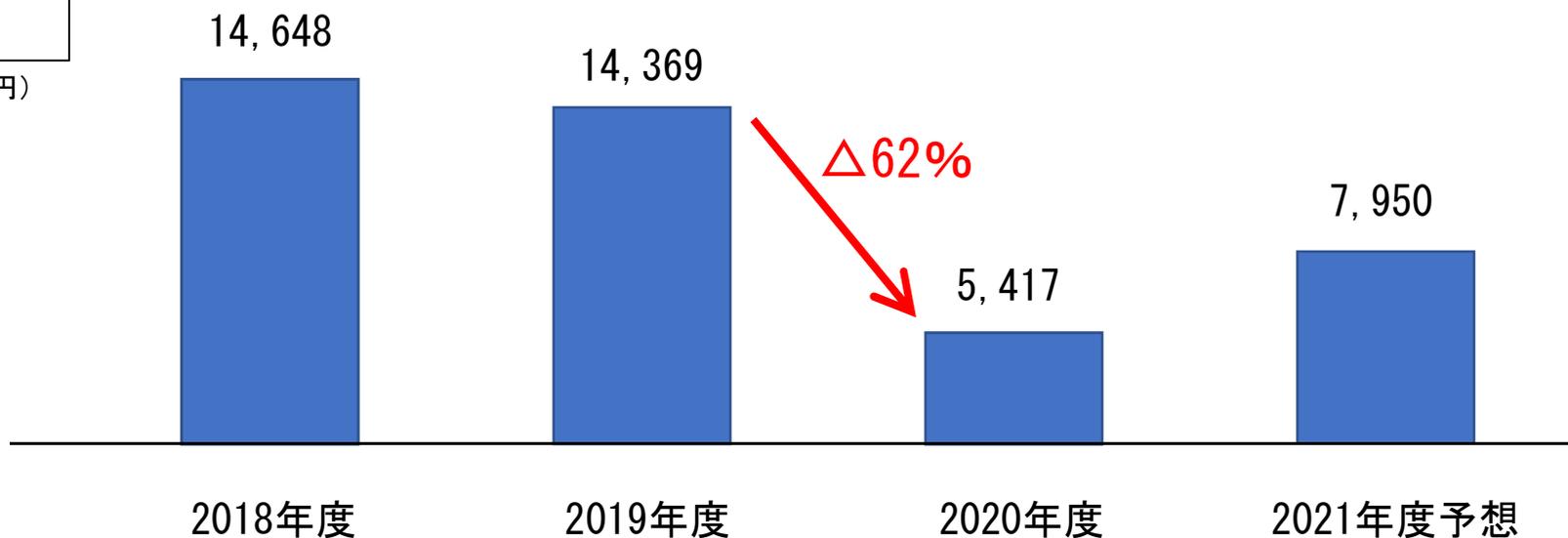


※2021年度4Qは2月16日までの実績

新型コロナウイルス感染症拡大前後の経営状況比較

営業収益 (単体)

(単位：億円)



当期純損益 (単体)

(単位：億円)

